

豊田市商業連合協同組合 小坂発展会

活性化計画 平成26年度－28年度

1. 小坂発展会の現状と課題	
(1)会員の構成及び位置	1
(2)会員店舗の集積状況と特徴	2
(3)会員の現状(会員アンケート調査より)	3
2. 第1期活性化計画(平成23年度－25年度)の事業の進捗	
(1)事業の進捗	4
(2)目標の達成状況	4
3. 第2期活性化の基本方針と目標	
(1)小坂発展会の特長と課題まとめ	5
(2)活性化の基本方針と目標	5
4. 第2期活性化計画(平成26年度－28年度)	
(1)事業内容	6
(2)目標数値と評価方法	6
5. 推進体制	
(1)推進体制	7
(2)小坂発展会役員	7
6. 活動記録	8

平成26年4月1日

豊田市商業連合協同組合
小坂発展会

1. 小坂発展会の現状と課題

(1)会員の構成及び発展会の位置

小坂発展会は愛知環状鉄道新豊田駅の西側に位置した広範囲な発展会である。発展会の区域内には、産業文化センター、美術館、市民文化会館等の公共文化施設や毘森公園があり、文化と緑を感じることができる地域である。

会員は107件で、平成22年度から大きく増加した（25件/伸長率130.5%）。この要因としては、飲食店の増加（27件→48件）が挙げられる。

業種別は、飲食業が一番多く48件で全体の44.9%と会員の半数近くを占めている。次いで小売業22件、20.6%、サービス業22件で20.6%である。

①会員数

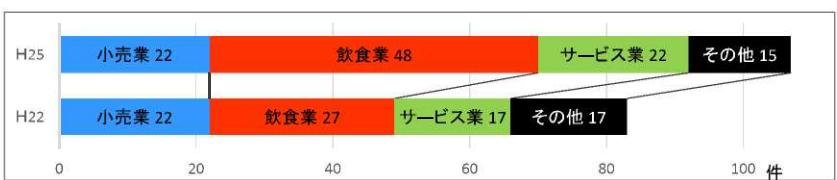
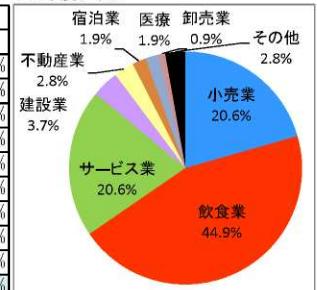
H25年度	H22年度	伸長
107件	82件	25件 130.5%

②業種別会員数

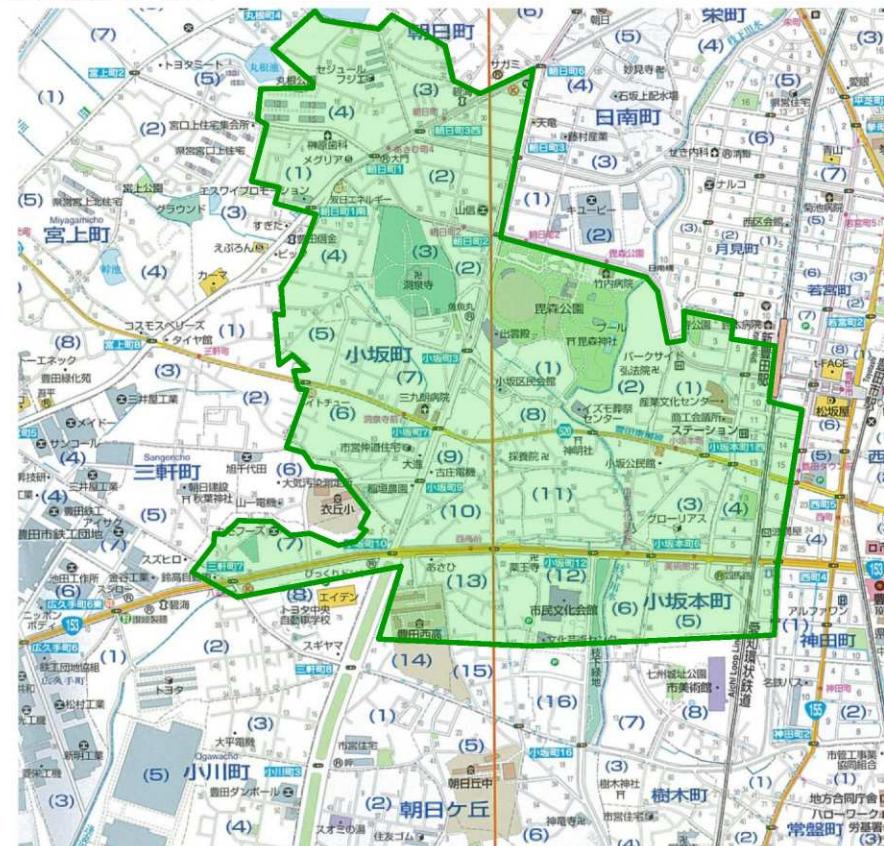
業種		会員数
小売業	衣料品	4件
	自動車類	4件
	飲食料品	3件
	呉服	2件
	薬局	2件
	その他	7件
飲食業	飲食店	32件
	バー・スナック	16件
サービス業	理美容	9件
	マッサージ	5件
	教室	3件
	冠婚葬祭	3件
その他		2件
合計		107件

業種		会員数
建設業	4件	
不動産業	3件	
宿泊業	2件	
医療	2件	
卸売業	1件	
その他	3件	
合計		107件

H25年度グラフ



③小坂発展会の位置図



1. 小坂発展会の現状と課題

(2)会員店舗の集積状況と特徴

- 会員の店舗は、点在しており、ゾーンを形成していない。
- けやき通りの西側から愛環高架下あたりと、県道豊田東郷線及び市道公園線沿線は、集積とまではいかないが、会員店舗が多い。



2. 第1期活性化計画〈平成23年度－25年度〉の事業の進捗

(1)事業の進捗

事業名		具体的な内容(計画)	実施状況	成果と課題
				・成果 ・・・課題
1	継続・見直し 「小坂納涼夏祭り」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・発展会PRチラシや発展会MAPを配布したり、抽選会景品を会員店舗の協賛品にするように努め、地域住民の会員店舗に対する認知度を高める。 ・より魅力ある出店内容、出店数の充実を図る。 ・発展会看板やまつり協賛店舗の紹介看板を設置し認知度を高める。 	<p>年1回開催</p> <p>豊田おいでんまつり翌週の土曜日に開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集客数:H23年1,700人/H24年2,000人/H25年2,200人 ・自治区のジュニアクラブの参加が増えたことより、若いファミリー層が増えた。 ・発展会や店舗の看板を設置したことにより、認知度が高まった。「発展会が開催していることを知っている」H23年26%→H25年43% ・まだまだ、発展会や会員店舗に対する認知度が低い。 ・若いファミリー層向けの出店内容の充実が必要。
2	新規 飲食イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、飲食店の会員が増加の傾向にあり、会員より要望の高い飲食イベントの開催を行う。 ・飲食イベントの集客を利用し、発展会全体の認知度UPを目指す。 ・飲食以外の業種との連携も検討、一層の発展会の認知度UPを目指す。 	<p>H23年度は1回、 H24年度、25年度 は年2回ずつ開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チケット販売数が開催を重ねることに増加した。 Vol.1(H23年11月):1,051冊→Vol.5(H25年11月):2,078冊 5回開催で197%の伸長。 ・参加店舗数が開催を重ねることに増加した。 Vol.1(H23年11月):19店→Vol.5(H25年11月):32店 5回開催で168.4%の伸長。 ・飲食以外の業種との連携が少ない。毎回、5店くらいで、増加しない。 ・事業規模が大きくなり、発展会理事だけでは、運営が困難になりつつある。当事者である飲食店を含めた組織づくりが必要である。
3	継続・見直し 小坂発展会 「安心お店・サービスMAP」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のお店紹介MAPに、「子ども110番協力店」「AED設置」等地域に役立つサービスや協力内容を付加する。 ・MAPの配布先の拡大を目指す。区民全戸の配布を行う。発展会内の施設(美術館、市民会館)、イベント等集客のあるところに設置する。 	H25年度制作	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度(H26年3月)に発行し、小坂自治区全戸2,700戸に配布。 ・地域に役立つ情報として、防災倉庫・第一避難所、及び、発展会区域内と周辺の公共施設をMAPに入れた。
4	新規 研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・発展会会員の経営、営業に係わるスキルUP、知識や情報の吸収につながる研修会を実施する。 ・ICT(Information and Communication Technology)の活用やフェイスブック等ソーシャルネットワークについての研修を行い、店舗の営業に活かすだけでなく、地域住民を含めた発展会内外のコミュニケーションに活かすことを検討する。 	年1回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・H23年度 知立商店街飲食イベント 意見交換会、見学会「とよた小坂食べ歩き」の参考になった。 ・H24年度 IT研修会 ホームページの基礎知識、利点・活用方法研修会を契機に、ホームページを開設した店舗があった。 ・H25年度 IT研修会 FacebookなどSNSの基礎知識習得
5	新規 会員の業態転換・経営革新の推進	・地域住民のみならず消費者のニーズに答えるため、時世に合った業種や品揃えを検討する会員を支援する。	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・2店舗実施 ・時世にあわて、自然発生的に業態転換を行っていた。発展会として、支援制度などの情報発信をする必要があった。
6	新規 空き店舗活用の推進	・空き店舗、後継者がいない店舗の活用方法として、発展会の不足業種の導入や若手店主の育成の場として推進する。	随時	<ul style="list-style-type: none"> ・1店舗実施 ・発展会は、市の支援を活用できるように推進した。

(2)目標の達成状況

- 「にぎわいづくり」、「安心・快適・便利な発展会環境づくり」の会員ニーズに基づき、小さなアイデア・小さな取り組みの積み重ねにより活性化を目指す。

小坂発展会会員数の増加を目指す	発展会会員数(平成22年度)82件 → 目標 85件 活性化計画期間中で、組合員数3件の増加を目指す。	→	H25年度会員数 107件 H22年度から25件増加
会員の発展会加入メリット(満足度)の向上を目指す	平成25年度に平成22年度に実施した「会員アンケート」と同様のアンケートを実施し、発展会に加入した動機について[セールへの参加][店の宣伝][フリーパーキング][行政等に要望]の合計回答率平成22年度回答率 35.2% → 目標 40.0% 活性化計画期間中で、回答率4.8ポイントの増加を目指す。	→	H25年度調査結果 46.7% H22年度比 11.5ポイント増加

3. 第2期活性化の基本方針と目標

(1) 小坂発展会の特長と課題まとめ

【特長】

- 会員（店主）の年齢構成が比較的若い。
- 直近10年未満に加入した店舗が発展会全体の40.3%を占めており、新しい店舗が多い。
- 新しい店舗のほとんどが飲食店で、会員の業種のうち44.9%を占めている。
- 毎年恒例の「夏まつり」など自治区と連携したイベントを開催し、地域との結びつきが強い。
- 第1期活性化計画でスタートした、飲食イベント事業「とよた小坂食べ歩き飲み歩き」は、消費者、会員の双方に好評で、チケット販売数・参加店舗数とも増加を続けている。

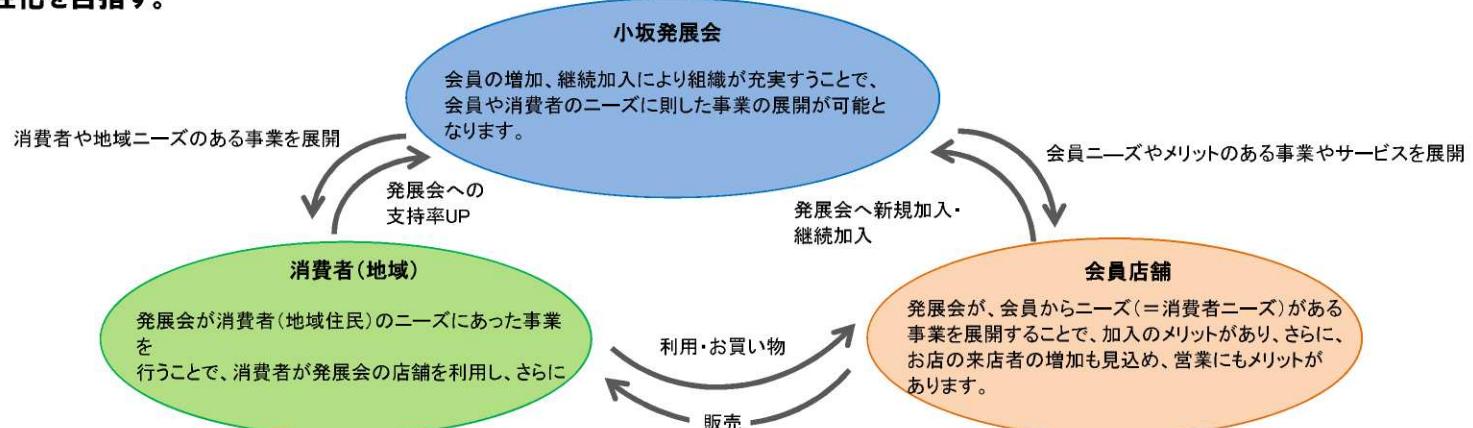
【課題】

- 会員の店舗が広域に渡っているため、発展会全体での共同販促は取り組みにくい
- 10年未満に加入した店舗が増加し、会員（店主）の年齢構成も若い。逆に、昔からの地場の店舗や店主が減少していると思われる。近年、加入した、若い店主らを、いかに発展会活動に巻き込んでいくかが課題である。
- 自治区と連携した「小坂納涼夏まつり」は毎年、地域住民から好評を得ているが、発展会の運営であるという認識度合いが43%と、依然低い。発展会のPRの場として、さらに強化する必要がある。

(2) 活性化の基本方針と目標

活性化の基本方針

- 「にぎわいづくり」、「安心・快適・便利な発展会環境づくり」の会員ニーズに基づき、小さなアイデア・小さな取り組みの積み重ねにより活性化を目指す。



- 地域に貢献する発展会として、発展会内外とのコミュニケーションの強化を図ることにより活性化を目指す。
- 将来の発展会の担い手づくりとして、人材育成等個店強化型取り組みにより活性化を目指す。

活性化の目標

発展会活動・店舗の充実をはかり、地域の発展につなげます。

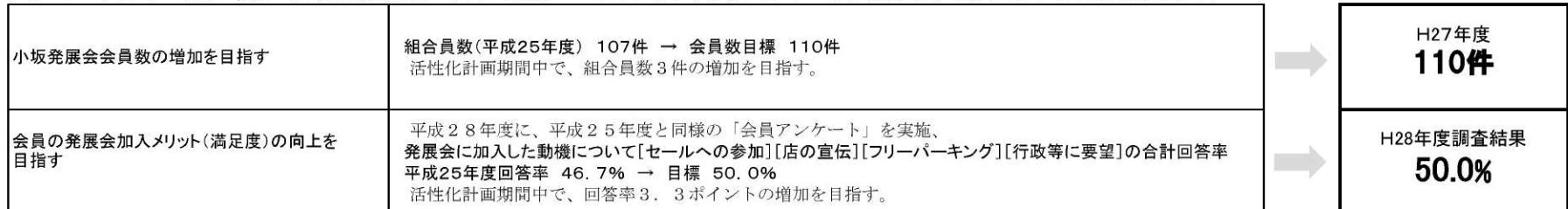
4. 第2期活性化計画〈平成26年度－28年度〉

(1)事業内容

事業名			具体的な内容	実施年度
1 継続・見直し	「小坂納涼夏祭り」の開催		<ul style="list-style-type: none"> ・発展会PRチラシや発展会マップを配布したり、抽選会景品を会員店舗の協賛品にするように努め、地域住民の会員店舗に対する認知度を高める。 ・「キッズ縁日コーナー」などにより魅力ある出店内容、出店数の充実を図る。 ・発展会会員の店舗名を記載した看板やまつり協賛店舗の紹介看板を設置し、認知度を高める。 	年1回開催 豊田おいでんまつり翌週の土曜日に開催 ※雨天の場合は日曜日に順延
2 継続・見直し	飲食イベントの開催		<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店の会員が増加しており、会員より要望の高い飲食イベントを継続開催する。 ・飲食イベントの集客を利用し、発展会の名入りのはっぴやのぼりを活用し、発展会全体の認知度アップを目指す。 ・飲食以外の業種もイベントに参加できるよう検討し、一層の発展会の認知度アップを目指す。 	H26年度 1回/年 H27年度 2回/年 H28年度 2回/年
3 継続・見直し	小坂発展会イラストマップづくり		<ul style="list-style-type: none"> ・従来のお店紹介MAPに、「子ども110番協力店」等地域に役立つサービスや協力内容を付加する。 ・MAPを区全民戸(2,700戸)に配布する。 ・発展会区域内の施設(美術館、市民会館)やイベント等集客のあるところに設置する。 	H28年度制作
4 継続・見直し	研修会の実施		<ul style="list-style-type: none"> ・発展会会員の経営、営業に係わるスキルUP、知識や情報の吸収につながる研修会を実施する。 ・ICT(Information and Communication Technology)の活用やフェイスブック、ツイッター、ライン等ソーシャルネットワークについての研修を行い、店舗の営業に活かすだけでなく、地域住民を含めた発展会内外のコミュニケーションに活かすことを検討する。 	H26年度 1回/年 H27年度 1回/年 H28年度 1回/年
5 継続・見直し	会員の業態転換・経営革新の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のみならず消費者のニーズに答えるため、時世に合った業種や品揃えを検討する会員を支援する。 	随時
6 継続・見直し	空き店舗活用の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗、後継者がいない店舗の活用方法として、発展会の不足業種の導入や若手店主の育成の場として推進する。 	随時

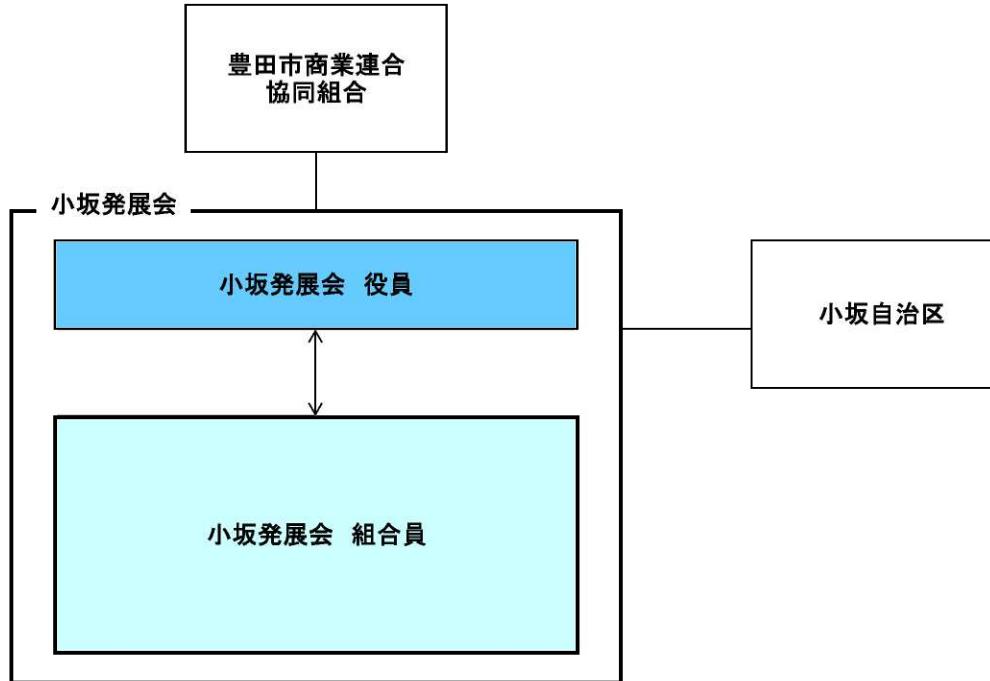
(2)目標数値と評価方法

- 「にぎわいづくり」、「安心・快適・便利な発展会環境づくり」の会員ニーズに基づき、小さなアイデア・小さな取り組みの積み重ねにより活性化を目指す。



5. 推進体制

(1) 推進体制



(2) 小坂発展会役員 平成25年度・平成26年度

敬称略

役職	氏名	屋号
顧問	加茂 三樹雄	豊田市議会議員
顧問	神谷 基	小坂自治区区長
会長	近藤 敏	電化ハウスマイマー
副会長	長崎 洋平	鯉の洋平
副会長	河合 秀昭	ばにら
副会長	杉山 悟	(株) FUNE(フューネ)
会計	山口 久光	小坂飯店
会計	伊藤 浩	(有)庄田商店
書記	栗本 誠一郎	イズモ葬祭
監査	伊藤 登	(有)セフティーモーター大進
監査	酒井 孟	司法書士酒井事務所

6. 活動記録

第1回
平成25年12月5日(木)19時～ 時

第2回
平成26年2月27日(木)19時～21時10分
第1期活性化計画の進捗について ・アンケート結果の確認 ・商店街の現状と課題 まとめ ・第1期活性化計画事業の進捗の確認 ・目標の達成状況

第3回
平成26年3月6日(木)19時～ 時 分
第2期活性化計画の事業の概要について話し合い ・イベント(小坂納涼夏まつり、はしご酒) ・情報発信(商店街イラストMAPの活用、更新) ・業態転換、経営革新店舗の支援 ・空き店舗活用、新規創業支援 ・研修会の開催


第4回
平成26年3月13日(金)19時～20時
第2期活性化計画策定(案)まとめ ・具体的な事業内容 ・目標指標と評価方法 ・推進体制

全体会
平成26年3月26日(水)
商店街活性化計画策定について説明 ・全体説明 ・意見交換